

平成29年 9月27日

松阪市議会
山本敬芳議長 様

議員 海住恒幸

視察調査報告

報告書 愛知県犬山市議会視察
実施日 平成29年9月15日（金曜日）午前10時～11時30分
調査対象 犬山市議会全員協議会
調査実施者 海住恒幸（グループ臯）

テーマ 「全員協議会の活用の仕方と議員間討議」

今年5月に愛知県犬山市議会議長になった、ニューヨーク市出身のビアンキ・アンソニー氏（58）は、議長選で「議員間討議の促進を」と訴えたことを5月29日付の朝日新聞で見て一度話を聴く機会を持ちたいと思っていましたので、8月23日に同市議会議長室でアンソニー氏に面会（政務活動費を使わない訪問による聴き取り）しました。9月15日の全員協議会へは政務活動費を充て視察致しました。

報告

（1）全員協議会を活用した議員間討議（一般質問）

犬山市議会では、定例会の会期の前半に議案質疑と一般質問を行い、後半に常任委員会が開催されるが、真ん中に全員協議会を持ってきて、その中で議員間討議を行うこととしている。議員間討議のテーマは、一般質問や議案質疑の中から議長がテーマを抽出し、その質問を行った議員が口火を切る形でラウンドテーブルで全議員が自由に意見を述べることができる。アンソニー議長はわたしの聴き取りに対して、一般質問の中から当面は共通に議論しやすいものを選んでいくとのことで、会期中の一般質問の中から2、3を議長が選ぶほか、議員からも自ら進んで議員間討議のテーマに求めている。

9月の定例会では定数20人の在籍議員のうち、18人が一般質問をした。この日の全員協議会では、最初、議長が、副議長の中村貴文氏の一般質問「『犬山の日』を制定してはどうか」（9月7日実施）を議員間討議に取り上げた。中村

氏は「自分の提案に対し市長は前向きではなかった。そこで、行政提案ではなく、議員提案で条例制定にもっていききたいので、議員のみなさんのご意見を聴かせていただきたい」と発言。8人の議員からさまざまな発言があった。議長は「議会でやるにしても行政との協議は必要」とし、最後に中村氏に再度の発言を求めた。

中村氏は「後ろ向きの意見は一つもなかった。来年は成年であるのでそれに合わせて『犬山の日』が出来れば。きょうのご意見を参考に一步、二歩進めたい。きょうで終わらず、きょうがスタート」と発言した。

(2) 全員協議会を活用した議員間討議（議案質疑）

議員が、市営テニスコートの使用料の値上げについての条例案について、「2時間で300円というのはかなり安い。各務原市では1時間500円であるし、もっと高くしてもよいのではないか。皆さんの意見を聴きたい」と問題提起した。これに対し、他の議員は「各務原市とはコートの質が違うのでは?」「維持管理費の違いは?」「いろいろな方が使えるから犬山市はこれでよい」「市民か、市外かで分けるべき」「市長も、とりあえずやってみて見直すと言っているからそれでよいのではまいか」等々、発言があった。

議長は、「委員会の判断を尊重したい。(議案の付託を受ける) 常任委員会で議論を深めてほしい。2時間単位よりも1時間単位のほうが使い勝手がよいかもしれない。そのことを検討してほしい」と注文を付けた。

犬山市議会では、本会議での議員間討議はないが、常任委員会では議員間討議をおこなっている。そのことを踏まえてアンソニー議長は「委員会でいろいろな意見を形にまとめてほしい」と求めた。同議長は、5年ほど前、コミュニティバス交通を所管する常任委員会の委員長だったとき、委員会でのバス関連の予算に質疑が集中したため、「結論を出してほしい」と議員間討議を促し、委員会として改善案を意見書としてまとめさせたことがある。その経験をベースに、委員会では議員間の議論の結果して修正案を提出すること、もしくは、意見書のとりまとめの重要性を認識し、注文を付けている。アンソニー議長は「少なくとも委員長報告のまとめ方に議員間の討議の結果を踏まえたものにしてほしい」と、わたしに話していました。

議案について本会議質疑と委員会審査の中間に開く全員協議会で議員間討議し、議長としても意見を付けることによって、議長意見として、議案を付託する委員会に議論の方向性について議会全体としての示唆を与えている。委員会には独自の権限があるので議長として議論の方向性を押しつけることはできないが、議論に向けた参考意見として議会を代表して議長が意見を述べることは、そのことによって委員会審査が活発になることを想定すれば意味があるだろう。

(3) 犬山市議会の全員協議会の活用方法

犬山市議会では、平成11年から定例会の会期中に全員協議会を開いており、アンソニー議長は、議長選挙の際の公約実現に全員協議会を活用している。全員協議会の活用方法はさまざまありそうだ。わたしが訪れた9月15日の全員協議会は、「一般質問及び上程議案の内容等を協議する議員間討議」のほか、行政からの諸報告や議会改革委員会など議会内の報告も協議事項に加えている。この日の終了時に、次回の全員協議会の開催日を約1か月後の日程として決定していることから、それまでに行政としても報告事項を入れるであろうし、議長自身も議会で取り組むべき事柄の提案を予定してくるだろう。

[写真1] 犬山市議会の全員協議会の様子。写真の中央左がアンソニー議長。その右は、議員間討議として、今年9月に自ら行った一般質問の内容を提案する中村副議長



以上